7年連続で100万円寄附 旭計器㈱による企業版ふるさと納税

町は、旭計器株式会社から7年連続となる企業版ふるさと納税制度を活用した寄附を受け、その贈呈式が11月18日、役場で行われました。「企業版ふるさと納税」とは、自治体が寄付金を地方創生のための事業に活用することができ、寄附を行った企業は税制上の優遇措置が受けられる制度です。町内に工場を有する同社は、さまざまな用途で使用されるサーモスタット（機械の温度を一定に保つための装置）を製造している企業。菅野明浩取締役福島工場長は「こどもを大切にするまちづくり事業に役立ててほしい」と、髙橋宣博町長に目録を贈呈。町では、寄附金を学力向上対策の推進や学校教育環境整備事業に活用する予定です。

1_髙橋町長に目録を手渡す菅野工場長（中央）と奥山篤取締役総務部長（右）　2_まちづくりについて懇談しました

町民の健康増進を目指して 明治安田生命保険相互会社が寄附

町は「健康増進に関する連携協定」を締結している明治安田生命保険相互会社から66万6、600円の寄附を受け、その贈呈式が11月7日、役場で行われました。同社は、令和3年度の協定締結以来、町民の健康増進のために、健康測定会などで実施するベジチェック測定の実施協力をはじめ、町に対して毎年寄附を行っています。郡山支社保原営業部の馬場千誉（かずたか）部長は「弊社は『ひとに健康を、まちに元気を』をスローガンに、地元応援募金を実施している。町民のみなさんの健康維持に役立てていただければ」と話しました。髙橋町長は「今後も本協定を大切にし、日本一健康なまちを目指して、健康増進事業を展開していく」と話しました。

▲髙橋町長（左）へ目録を手渡す馬場部長（中央）。町は今後も同社と連携し健康増進事業を推進していきます

住み続けたい街ランキング2025〈福島県版〉1位・〈東北版〉3位

町は、大東建託株式会社による「いい部屋ネット住み続けたい街ランキング2025〈福島県版〉」で、1位、〈東北版〉でも3位にランクインしました。

調査回答者からは「生活に必要なものが徒歩圏内にほぼある」「土地も安くて子育て支援に力を入れている」などのコメントが寄せられました。また、「街に誇りがある」、「愛着がある」、「街の住みここち」ランキングにおいても1位を獲得しています。

町は、今後も「住み続けたいまち 住みたいまち桑折」の維持・向上に向けて、各種政策を展開していきます。

▼〈福島県版〉各種ランキング順位

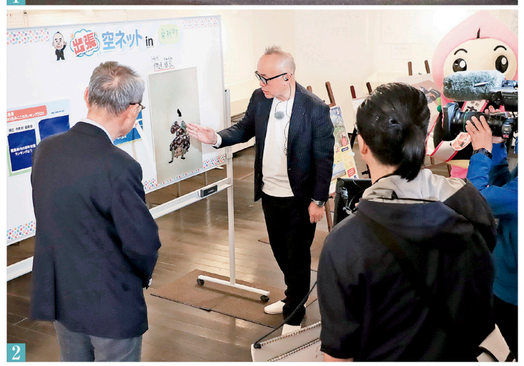
順位	住み続けたい	誇りがある	愛着がある	住みここち
1位	桑折町	桑折町	桑折町	桑折町
2位	須賀川市	会津若松市	石川町	鏡石町
3位	鏡石町	本宮市	郡山市	郡山市

▼〈東北版〉各種ランキング順位

順位	住み続けたい	誇りがある	愛着がある	住みここち
1位	富谷市（宮城）	富谷市（宮城）	白鷹町（山形）	富谷市（宮城）
2位	田舎館村（青森）	弘前市（青森）	富谷市（宮城）	利府町（宮城）
3位	桑折町	桑折町	桑折町	仙台市 大田区

6日連続オンエア「市町村ウィーク」テレビで伝えた桑折の魅力

福島テレビによる地域連携企画「市町村ウィーク」が10月20日から25日にかけて実施されました。この企画では、桑折西山城シンポジウム（10月26日開催）に向けて機運醸成を図ることを目的に、福島テレビの主要番組内で、町内飲食店や伊達氏関連の見どころなどを6日にわたり放送しました。10月24日には、斎藤恭紀気象予報士による「出張天気」が旧伊達郡役所から中継され、ホタピーや髙橋町長が町の魅力やイベントの告知をするとともに、斎藤気象予報士がシンポジウム当日の天気予報などを伝えました。



1_旧伊達郡役所の前で出張天気のオープニングを中継する斎藤気象予報士と町観光大使ホタピー　2_旧伊達郡役所内で町の住み心地の良さや伊達氏の歴史を紹介。西山城シンポジウム開催に向けてPRしました